



指定通知書の Web 発行システム開始

第86号
 発行所 酒井重工業株式会社
 住所 東京都港区芝大門 1-4-8
 電話 03-3434-3401
 FAX 03-3434-3419
 発行人 加藤 孝

酒井重工業では、従来お客様から電話でお問い合わせ頂き、郵送等で発送していましたが「排ガス対策型建設機械指定通知書」ならびに「低騒音対策型建設機械指定通知書」を、この度、弊社ホームページから入手できるように致しました。各種指定通知書の発行要領は以下の通りです。



- 1) 弊社ホームページ (①) を開いて下さい。
 - 2) 画面左下の当該検索ボタン (②) をクリックして下さい。
 - 3) 各種指定通知書検索画面 (③) で型式と号機を入力して下さい。
 - 4) 通知書検索ボタンをクリックすると、ダウンロード画面 (④) が開きます。※1
 - 5) ダウンロード部 (④) をクリックして通知書を表示して下さい。
 - 6) 通知書と別紙 (⑤) を印刷して下さい。※2
- ※1: 該当車両が指定を受けている場合のみ検索できます。
 ※2: 通知書には通常、型式と号機は表示されません。また、印刷された通知書のご使用に関しては使用者の責任でお願い致します。

<排ガス対策型建設機械指定通知書発行例>

③ 排ガス対策型建設機械指定通知書検索

ご使用になるローラの排ガス/証明書がダウンロードできます。
 【使い方】
 1. 型式を選択してください。
 2. 公称型式を選択してください。
 3. 号機を入力してください。(数字5桁)
 4. 画面に表示されましたPDFデータをクリックして印刷してください。
 ※ご不明な点がありましたら最寄の営業所までご連絡ください。

型 式 :
 公称型式 :
 号 機 :

通知書検索

④ 1、機種名：タイヤローラ 公称型式：TZ701
 ■ダウンロード ⇒ kuni41.pdf

⑤

国 交 省 第 4 1 号
 平成 1 4 年 6 月 2 6 日

酒井重工業(株)
 代表取締役社長 酒井 一郎 様

国土交通省大臣官庁技術審判書

排ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省路機第249号、最終改正平成14年4月1日付け国路第226号)に基づき、別紙のとおり排出ガス対策型建設機械として指定したので通知する。

排出ガス対策型建設機械指定一覧表

(別紙)

機 種 名	会 社 名	分 類	型 式	機 種 重 量 (t)	機 種 価 格	定 額 出 力 (kW)	使 用 区 分	指 定 番 号	エ ン ジ ン 排 出 量 番 号	エ ン ジ ン 型 式	高 煙 浄 化 装 置 型 式	高 煙 浄 化 装 置 型 式	高 煙 浄 化 の 方 式	注 意
タイヤローラ	酒井重工業(株)		GW750	8,500	重量(t)	8 ~ 20	77	一般用	2-814	2-10	DD-4BGIT	-	なし	第2次基準値
タイヤローラ	酒井重工業(株)		TZ701	9,000	重量(t)	8 ~ 20	69.9	一般用	2-815	2-67	WG4D-TG	-	なし	第2次基準値
振動ローラ	酒井重工業(株)	排気式-コンバインド型	TW650	5,900	重量(t)	5 ~ 8	58	一般用	2-816	2-38	WG4D-H	-	なし	第2次基準値
振動ローラ	酒井重工業(株)	排気式-コンバインド型	TW650N	6,050	重量(t)	5 ~ 8	58	一般用	2-817	2-38	WG4D-H	-	なし	第2次基準値
振動ローラ	酒井重工業(株)	排気式-コンバインド型	SV510DVC-1	14,440	重量(t)	11 ~ 12	126	一般用	2-818	2-66	BB-6BGIT	-	なし	第2次基準値

ニカラグアレポート③！！



ニカラグア ODA 納入機の点検および指導

昨年4月、JICA（国際協力機構）は、「ニカラグア道路維持管理能力強化計画」の一環として、酒井重工業製のロードスタビライザ PM550（3台）、10t 土工用振動ローラ SV512（3台）、タイヤローラ TZ701（3台）、ハンドガイドローラ HV51（6台）等は無償提供し、その一環として弊社が路床・路盤の安定化処理工法の指導を行いました。今回のレポートは、納入から1年経過後の現地点検報告となります。

初めに、運輸インフラ省(MTI: Ministerio de Transporte e Infraestructura)のマルティネス大臣を表敬訪問し、次に MTI の工事担当部署と点検スケジュールの詳細について打ち合わせを行いました。

点検する機械は各地に分散しており、早朝出発し夜遅くホテルに戻るような状態（コスタリカ国境近くの現場にいたっては、片道6時間で現地泊）で、ハードスケジュールな2週間でした。最も気懸かりであった PM550(稼働時間約 400hr)については、機械の状態も良く、これといった致命的なダメージも殆ど無い状態で、SV512(稼働時間約 850hr)については、現場での使用頻度が高い割には故障もなく良好な稼働状態でした。また、現地の燃料品質は悪いと聞いていましたが、エンジントラブルも特に無く、燃料フィルターの交換と燃料タンクの水抜きを定期的に行うことなどを指導しました。点検最終日の前日に、ニカラグア北部に連なる火山の内の Telica 火山が噴火を始めたことで付近の住民に避難勧告が出ているとの新聞報道がありました。丁度、現場がこの火山近くで、気が気ではありませんでしたが、翌日は何とか噴火が小康状態となり点検を行うことができました。ニカラグアも日本と同じ環太平洋火山帯であることを再認識しました。

点検終了後は、マルティネス大臣を再度訪問し、最終点検の完了とその内容を報告しました。大臣からは今回の点検について感謝と労いの言葉を頂きました。日本とニカラグアの距離は 12,862km（直行便はなく、トータル 24 時間）と非常に遠く、直接的な指導は容易に行えません。帰国に際し、日常点検や定期点検の重要性について継続的に指導していくことの意義をひしひしと感じた2週間でした。



上：ニカラグアの地図と改修計画路線

右上：PM550 と現地スタッフ

右下：Bolcan Telica の噴煙

新製品紹介

～NETIS 登録されたサカイの新しい技術～

今回は、新しく NETIS 登録された以下の新技術案件についてご報告致します。第一に超低騒音化技術を装備した締固め機械、第二に貯水（散水）タンクに樹脂製品を採用した締固め機械、そして最後に施工時およびメンテナンス時の安全性を高めた土工用振動ローラです。

NETIS 番号：HK-110006

新技術名称：超低騒音型締固め機械（対象製品：R2-2、TS160-2、SW/TW200-1/230-1/250-1、TW502S-1）

NETIS 番号：HK-110007

新技術名称：樹脂製タンク採用ローラ（対象製品：TZ701-1、SW/TW352-1、SW/TW502-1、SW652-1 系）

NETIS 番号：HK-110015

新技術名称：高安全性土工用振動ローラ（対象製品：SV512-1 系、SV900/900-1 系）

弊社では、機械の運転者および機械の周辺作業者に対する施工時の聴覚確保や騒音公害の低減を目的としてローラに超低騒音技術を装備しています（対象製品に関しては、上記を参照）。

上記第二の技術では、従来貯水（散水）タンクに鋼鉄製材料を採用していましたが、近年タンク内に発生した錆による散水経路、特に散水ノズルの目詰まりが問題視されており、この問題解決策として樹脂製の貯水（散水）タンクを採用しています。これによりアスファルト混合物締固め時に必要な散水作業が目詰まりにより中断されることがなく、タイヤもしくはロールへの材料の付着を防止することができるため、ノズルの清掃作業だけでなく施工面でもより安全、安心に作業できるようになりました。また、一般的に鋼鉄製のタンクは機械本体と一体になっているため、樹脂製タンクの採用は機械本体の寿命延長にも繋がります。特にタイヤローラ TZ701-1 は本樹脂タンク技術の特許取得しており、長くお客様にご愛用頂いている主力製品になります。

上記第三の技術である高安全性を有する土工用振動ローラは、後輪タイヤ部に挟まれた空間にエンジンルームがあるため、エンジンオイル等の日常点検時にタイヤに登ることもありました。本技術では、タイヤ上部に点検用の歩み板（写真 1）を採用することで転落等の事故防止に大きく貢献することができました。この他、当社独自のフットブレーキの採用（写真 2）やニュートラルロック機構（写真 3）も本技術に含まれています。今後も酒井重工業の NETIS 技術をご利用頂ければ幸いです。

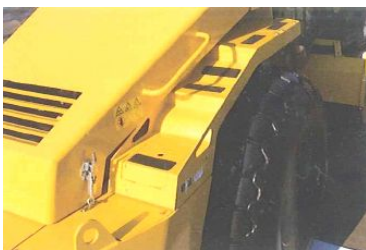


写真 1：点検用歩み板

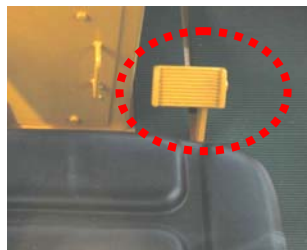


写真 2：フットブレーキ



写真 3：ニュートラルロック

※これまで、NETIS 登録された酒井重工業の新技術は、

NETIS 番号：KT-070017

新技術名称：振動タイヤローラ GW750



NETIS 番号：KT-080028

新技術名称：振動マカダムローラ MW700



NETIS 番号：KT-100107

新技術名称：締固め管理システム CIS



参照) 国土交通省 NETIS : <http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>

ある町この道 シリーズ⑫ ～国道357号線～

東京ゲートブリッジ (恐竜橋)

現在、東京港の最も外側にあり東京都最後の埋立地といわれる中央防波堤外側埋立地と江東区若洲（旧東京湾埋立15号地）を結ぶ巨大な橋「東京ゲートブリッジ」が建設されています。

2009年2月より海上部の架橋工事が始まり、2011年度内には開通の予定とのこと。この橋は、橋中央がつながる前には恐竜が向かい合わせに立っているように見えたため、恐竜橋とも言われていたようです。

水面から橋梁最上部までの高さは87.8m、海上を跨ぐ区間の長さは1,618m（レインボーブリッジの約2倍）ですが、羽田空港を発着する航空機の運航ルート上にあるため、橋の高さに制限が課されている一方、大型船舶の往来も可能にするため、トラス構造を採用し、桁下56.4m、支間長440mを確保しています（割愛しますが、免振等の新しい技術も盛り沢山のようです）。

今後この東京ゲートブリッジは、大田区城南島とを結ぶ既に完成している臨海トンネル（3.1km）と合せて東京湾臨海道路の一部として臨海部の慢性的な渋滞緩和が期待される他、東京を海側から望む新たな観光名所としても注目を浴びることでしょう。



What is this? ～動物注意看板～

都内で見つけた「カルガモ横断注意」の標識



東京都新宿区下落合二丁目にある「おとめ山公園」でめずらしい標識を見つけました。JR山手線目白駅から15分ぐらい歩くと閑静な住宅地の中に緑に覆われた小さな公園が現れます。江戸時代にこの一帯は徳川家の狩猟地で、狩の休息所として一般人は立ち入りが禁止されていました。公園には、東京の名湧水57選に選ばれている湧水箇所があり、そこから小川が池へと続いています。

園内には、狭い道路を挟んで池が2箇所あり、そこをカルガモたちが横断するので標識が立てられています。

この標識のおかげで人には注意を促せましたが、天敵ののら猫などには効果がなく、生まれた25羽の内残った8羽が元気に育っています。

木陰のベンチに座り、鳥の声に耳を傾けていると「都内の貴重な自然」を満喫出来ますのでぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

